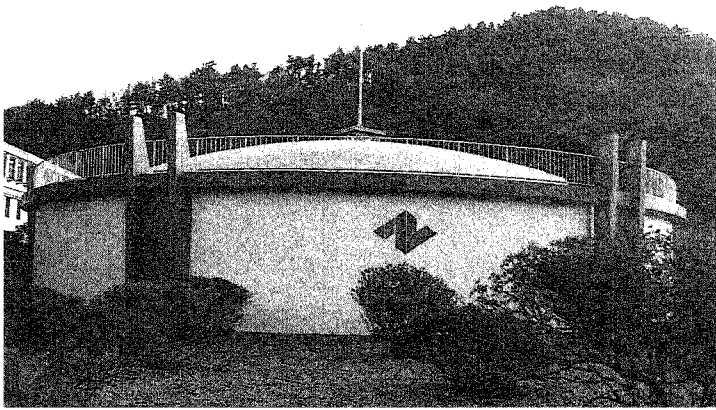


生活環境の整備

水道は、市民の毎日の暮らしや都市の諸活動を支える重要な施設になっていきます。幸い本市では、安全で良質なおいしい水が安定給水されていますが、これから二十一世紀に向けて、水道施設全体のバランスのとれたより高水準の水道を達成しなければなりません。上水道は、水需要の増加に対処し、ゆとりある安定した給水を確保するために、配水池容量の増強を図ってきましたが、本年は、新水源の開発、配水管路整備拡充を重点的にすすめて行きます。簡易水道につきましても、昨年、



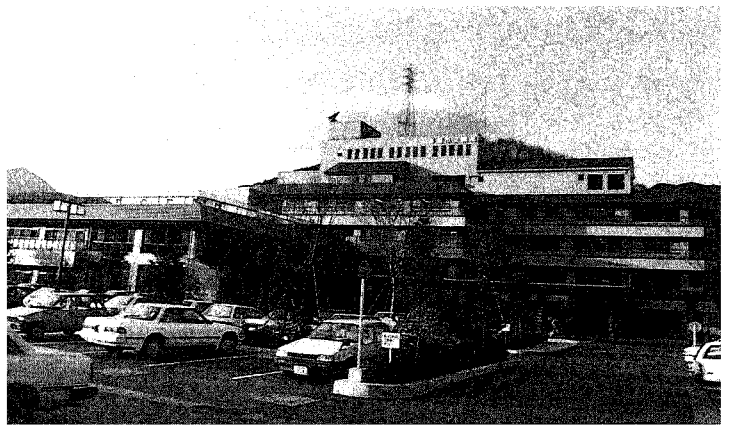
▲ 滝下浄水場配水池

東部簡易水道給水区域の水源、配水施設等を整備いたしました。本年は、大野簡易水道の安全な水源確保など、各施設の整備を行ってまいります。

また、環境保全衛生については、近年の生活様式の多様化・高度化に伴う河川の水質汚濁及び周辺環境の悪化が懸念されています。本市では、水質汚濁防止を図るため諸施策を展開してきましたが、下水道の早期実現を目指し、昨年九月に都留市・大月市・西桂町の二市一町で構成する桂川流域下水道推進準備会で流域関連公共下水道の基本計画策定に着手し事業実施に向け鋭意努力しています。

住民福祉・医療

高齢化社会の進展に伴い、年金・医療・雇用などの制度面はもとより、日常生活のなかでの環境整備など解決すべき問題は多くあります。本年は、障害者の保護者と協調して、通所福祉作業所（授産施設）を開設すべく準備をすすめております。在宅の心身障害者に対して自活に必要な授産の場を提供し、自立更生と社会参加を促進して行きます。場所はつる一丁目の市



▲ 開院3年目を迎えた市立病院

くも三年目を向かえ施設の果たすべき役割はますます大きなものとなっております。昨年、病院運営委員会で病院の増床・増科が検討され五十五床の増科についての結論がだされ、現在のこのための諸準備を進めています。

新年度において改築工事・医療備品購入などをおこなう早期に百十五床でスタートできるように努力してまいります。一方、増科につきましては、現状の医療スタッフに加え小児科・整形外科の医師確保を行い随時対応できるように積極的に取り組んでまいります。

商工会事務所の建物を利用し、諸準備を進めますが、市民各層のボランティアによる積極的な参加を期待しております。「ネーリンピック」という愛称で定着している全国健康福祉祭は、第五回目が本年十月三十一日から十一月三日までの四日間山梨県で開催されます。本市は、「ふれあい俳句大会」を担当いたします。俳句大会は、十一月一日に開催いたしますが、市民の皆様には、全国からの参加者を温かく迎え、かつ、積極的なご参加とご協力をお願いいたします。市民の期待を受け開院いたしました市立病院・老人保健施設も早

一昨年設置いたしました地域コミュニティセンターも運営委員会委員のご協力のもとに、住みよいふるさとづくりに向けて活発に活動を推進しています。この地域コミュニティセンターをさらに充実し、地域の皆様の憩いの場として利用していただくため浴室の設置を検討してきましたが、まず本年度中に宝地域コミュニティセンターに設置し、順次年度計画で他センターに設置して行きます。また、懸案でありました禾生地域コミュニティセンターの建設については、新年度に用地確保を行い、平成五年度を目途に建設してまいりますと考えています。

教育文化の向上



▲ 都留一中の特別教室に設置したコンピューター

教育環境の整備につきましては、昨年、都留第一中学校特別教室棟の大規模改修事業をおこない、平成五年度からコンピューターの授業が導入されることにより教室を改修し、コンピューター二十一台のネットワーク方式で授業が行えるよう整備を完了いたしました。本年も引続き普通教室棟の改修を二年計画で実施したいと考えております。今後も豊かな自然と地域の特性を生かした小学校から大学までの一貫した教育環境の整備を図ってまいります。

大学就学人口の減少期を控え、厳しい社会環境に対処するため都留文科大学の活性化を図るべく、新学科の増設を検討してまいりましたが、現在の社会的認識をとりえ、新学科として「比較文化学科」の設置を計画いたしました。比較文化学科は、日本文化研究、アジア文化研究、欧米文化研究の三つ